

# 要 望 書

## －新田原基地での日米共同訓練について－

日頃から本県の危機管理・防災行政について御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今月10月26日から新田原基地において実施される在日米軍再編に伴う日米共同訓練については、これまで事故の防止や騒音の軽減、新型コロナウイルス感染症の感染防止など、国の責任において万全の安全対策等を講じていただくよう要望を行ってきたところです。

特に米軍人の宿泊については、新田原基地内の宿泊施設で調整いただくよう強く要請をしてきたところではありますが、10月16日、九州防衛局長から新型コロナウイルス感染症に係る濃厚接触者等の隔離施設として新田原基地内の宿泊施設を利用するため、訓練に参加する米軍人は基地外に宿泊するとの説明があり、県民の間でも不安が広がっております。

新田原基地内の宿泊施設は、そもそも日米共同訓練に参加する米軍人が宿泊するために整備されたものであり、県民の安全・安心を確保する観点からも、原則として当該施設を利用すべきであります。なお、仮に隔離施設の必要が生じた場合については、新型コロナウイルス感染症対策のため県で確保している宿泊療養施設を提供する用意があります。

日米共同訓練については、これまでの協定書の中でも、国が安全対策等に努めるとともに、周辺住民の不安を解消するため万全を期すとされております。

つきましては、県民の不安が大きいという状況を考慮し、米軍人の宿泊については、新田原基地内の宿泊施設で再度調整いただくよう、強く要請いたします。